

杉俣コンクリート工業㈱ 環境行動計画

令和 2年11月27日

取組方針

杉俣コンクリート工業株式会社は、『コンクリート二次製品及び公共事業またその周辺事業を通じ、社会基盤の整備や公共の安全を願ひ、全ての人々に貢献する。』ことをモットーに、コンクリート製品の製造・販売や新製品の開発を行っていますが、環境保全に取り組むことが地域社会を構成する企業市民としての責務であることを認識し、住みよい社会と豊かな自然を将来世代に伝えることに貢献します。

- ① 省エネルギーにより、地球温暖化防止に努めます。
- ② 廃棄物の削減とリサイクルを進めます。
- ③ 資源の有効な利用を図ります。
- ④ クリーンな環境作りに努めます。

この方針にそって、全ての従業員が高い環境意識をもち、環境に配慮した行動ができるように、環境教育を実施します。また、地域での環境保全活動に積極的に参加できるように、社内の制度を整備します。

令和2年11月27日

杉俣コンクリート工業株式会社

代表取締役社長 杉俣 眞吾

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標一1	二酸化炭素の総排出量を、31年を基準として03年までに169,835.7kg・CO ₂ に削減する
具体的な取組	<p>(工場・施設での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① A重油ボイラーの燃焼効率の向上を図る。また、ボイラー周辺の環境の整備を行う。 ② 温度調節器のプログラミング、養生方法などの見直しにより、効率的な蒸気養生環境を検討する ③ 作業効率を改善し残業時間の短縮を図る ④ 営業車のエコドライブを推進する ⑤ 作業車両（フォークリフト等）のアイドリングストップを促進する ⑥ 昼休みには、使用していない機械の電源を切る ⑦ 夏の冷房時の室温は28℃を目安とする ⑧ 冬の暖房時の室温は20℃を目安とする ⑨ エアコン使用期間中はフィルターを毎月1回掃除する ⑩ パソコンとOA機器の省電力機能を活用する ⑪ LED照明への変更を検討する

目標一2	廃棄物の総排出量を、31年を基準として03年までに499.092トンに削減する
具体的な取組	<p>(工場・施設での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 製品製作の確認作業を徹底し、不良品(破損品)の発生を防止する ② プラントミキサ内の付着コンクリート除去、清掃及び整備を徹底し、コンクリートがらの削減に努める ③ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場の整理をする ④ 廃棄物管理票(マニフェスト)の管理を徹底する

目標一3	コピー用紙の使用量を、31年を基準として03年までに93kgに削減する
具体的な取組	<p>(工場・施設での取組)</p> <p>① 作成した資料は、パソコン画面上での確認を徹底する</p> <p>② 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏紙利用に努める</p> <p>③ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定を確認する</p> <p>④ 電子メディアの利用によってペーパーレス化を推進する</p>

目標一4	クリーンな環境作りのための活動方針
具体的な取組	<p>(工場・施設での取組)</p> <p>① 全従業員が、ゴミの回収、分別等のクリーンアップ活動に努める</p> <p>② 作業環境を改善し増産体制を整える</p> <p>③ 危険物・化学物質(コンクリート用化学混和剤)の安全管理を徹底する</p> <p>④ 全従業員の環境保全に対する意識の向上に努める</p>

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、社長(環境管理責任者)を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。また、1年ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。